

令和8年度 第2回 深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会 議事録

■日 時 2026年8月13日(木) 18:00~18:40

■場 所 深川市役所3階大会議室

■出席者 委員15名

(欠席9名:三木田光委員(代理出席あり)、穴戸真悟委員、神尾綾子委員、佐々木弘有委員、吉尾雅弘委員、倉本茂子委員、河村健太郎委員、早川達也委員)

事務局4名(佐藤部長、高田課長、山田課長補佐、野地係長)

税務財政課2名(関根課長補佐、岡田係長)

■ 議題

①第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績評価および前回質問への回答について

②深川市中期行財政運営プラン(素案)について

③その他

【議題①】第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績評価および前回質問への回答

●事務局より、6月25日に開催された第1回協議会での指摘事項に対する回答と修正内容を説明。

・耕地面積の減少について

実績値が50ヘクタール減少しているとの指摘に対し、再確認の結果、前年と変更なしの11,500ヘクタールであったことを報告した。

・合計特殊出生率の評価について

当初「判断困難」としていた達成状況を、若年層の経済基盤、雇用環境、晩婚化、ライフスタイルの多様化などの複合的要因により「目標値未達成」へと修正したことを報告した。

・高校生までの医療費無償化について

少子化で対象者が減る中での目標設定のあり方について質疑がなされた。事務局より、経済的理由による受診抑制を防ぐことが目的であり、人口動態とは切り離して高い目標値を維持していると説明した。委員からは、今後の少子化の影響を考慮した説明の工夫を求める意見が出された。

・救急車の利用啓発について

救急案内や救急車の利用の促進について質疑がなされた。事務局より、救急車搬送の約4割が軽症である現状から、積極的な利用勧奨は困難であるが、重症化を防ぐための適切なマイナンバーカード活用や相談窓口の周知を検討すると説明した。

【議題②】深川市中期行財政運営プラン(素案)について

●財政課より、今後の行財政運営の基本方針を示す「中期行財政運営プラン」の考え方と、事前質問への回答を説明した。

・プランの性格

個別事業の実施手法を定めるものではなく、持続可能な行政運営のための基本的な方向性を示すものであると説明した。

・市民生活の安定と向上

表現に「向上」を盛り込むべきとの意見に対し、今後の検討課題とした。

・デジタル化への対応

デジタル機器を使えない方への配慮や、詐欺対策、高齢者に分かりやすい電話対応などについて、デジタルを前提としない対応も確保していく方針を示した。

・指定管理料の算定

物価高騰や人件費上昇を踏まえ、適切な運営ができるよう、収支状況や最低賃金の動向を確認しながら検討を継続すると説明した。

・一部事務組合の再編

効率化のため、令和10年7月に北空知の3つの事務組合（水道、衛生、学校給食）を1つの「複合事務組合」として統合できるよう協議を開始したことを報告した。

・深川振興公社の経営状況

経営資料の提示を求める要望があったが、公社が別法人であることや、本プランが個別具体の検討を目的としていないことから、現時点での提示は見送った。

・外国人労働者への支援

在留許可手数料の大幅な値上げが検討されている中、市内の企業や外国人労働者を守るための支援を求める意見が出され、市側はこれを要望として承った。

【今後のスケジュール】

パブリックコメント：9月初旬まで実施中。

策定日：9月議会終了後、寄せられた意見を反映させた上で、9月から10月にかけて策定予定。

閉会にあたって 小林会長より、財政破綻した他市の事例に触れつつ、深川市が同様の状況に陥らないよう、本計画が適切に機能することへの期待が述べられ、会議は終了した。